



第 56 回

# 北海道高等学校登山選手権大会

兼第 61 回全国高等学校登山選手権大会北海道予選会

2017 年 6 月 20 日(火)・21 日(水)・22 日(木)・23 日(金)

カムイヌプリ～鷲別岳(室蘭岳)・来馬岳～オロフレ山

主 催 北海道高等学校体育連盟・北海道教育委員会・北海道山岳連盟

後 援 室蘭市・室蘭市教育委員会・登別市・登別市教育委員会

室蘭山岳連盟

主 管 北海道高等学校体育連盟登山専門部・北海道高等学校体育連盟室蘭支部

主管校 北海道室蘭栄高等学校

## 歓 迎 の 言 葉

当番校 北海道室蘭栄高等学校  
校長 佐々木 淳

全道各地区の予選を勝ち抜き、本大会へと駒を進めた選手の皆さんのこれまでの努力に敬意を表します。

高体連登山大会は、登山部の活動を通して高等学校における体育の健全な発達を図ることを目的として行われるものです。ですから大会では、各選手が日頃のトレーニングで培った知識や技術をパーティとしての総合力に結びつけ、互いに競い合うことが大切です。その一方で活動が自然環境下で行われるという点に十分注意を払うことが大切です。

このことを考えるとき、思い起こされるのは本年3月27日に、栃木県の高体連主催の講習会でのラッセル訓練のさなかに発生した事故のことです。雪崩により山岳部の生徒7人と教員1人の計8人の尊い命が失われ、40人が重軽傷を負いました。大変痛ましい事故として多くの国民に記憶されています。亡くなられた方々のご冥福をお祈りし関係の皆様にお悔やみを申しあげるとともに、負傷された方々に心からお見舞いを申し上げます。

本大会参加の選手の皆さんには、登山部の活動の特色を踏まえ、気象条件や隊員の健康、道の状況、野生動物の動き等、細かな変化を的確に把握し、計画の修正について判断するなど、安全な行動に努めていただくようお願いします。

さて、本大会の舞台は西胆振地区、室蘭市と登別市です。この地域は、洞爺湖や倶多楽湖など火山由来のカルデラの景観のほか、洞爺湖、登別など良質で豊富な温泉があるなど、自然の恩恵と災害の驚異の両方を実感できるところです。周囲に点在する山々は、海岸から奥へ、石狩や後志と境を接する方面に進むにつれ高く険しくなるという特徴がありますが、2,000メートルを超えるものはなく、今回、生徒たちを待つカムイヌプリ、室蘭岳、来馬岳、オロフレ山などは、高校山岳部の選手たちの挑戦にふさわしい山々ではないかと思えます。

選手の皆さんには、これまで身に付けた知識や技術を存分に発揮し、全員が安全にかつ楽しく、計画に従って全行程を終えられるよう期待しております。

最後になりましたが、本大会の運営にあたりご協力いただきます登山専門部の皆様、各校顧問の先生方、室蘭市及び登別市の関係者の皆様、並びに関係機関の皆様に心より感謝申し上げます、歓迎のご挨拶といたします。

# 大会役員

名誉大会長	小野倫夫		
大会長	谷坂常年		
副大会長	小路修司 小佐藤和英 井上明子	森宮路真人	林岡田裕司 司聡
顧問	青山剛也 堀達也	小笠原春一	柴田達夫
参与	北村善春 駒井博和 武田博	宮岡孝博 坂本和彦	大河内秀敏 國枝信
大会委員長	佐々木淳		
大会副委員長	池亀貞則	森田泰史	
大会委員	土居昌彦 宮田五輪夫 柴田秀明 相田敬史 内海健一 竹中喜三 飯田圭太 小池圭太	鵜野和憲 大友剛靖 西山千秋 納山秀俊 青木泰教 木村宜幸 永田幹	小山里司 柴田信之 青沼宏夫 加藤達一 二瓶伸宗 山下宗紀
安全対策委員長	小野倫夫		
安全対策副委員長	常田貞彦	内海健一	
安全対策委員	植野昭仁	藤原幸二	

# 大会実行委員

審査委員長 常田貞彦(遺愛女子)

審査委員

【男子】	【女子】
二瓶伸一(帯広柏葉)	山納秀俊(小樽潮陵)
竹中正喜(旭川北)	青山泰教(北見北斗)
山下宗紀(旭川西)	木村宜幸(北広島)
小池圭太(旭川工)	永田幹(釧路北陽)
佐々木亮介(札幌北)	今井一穂(江別)

隊長

【男子】	【女子】
青沼宏(八雲)	飯田一三(釧路湖陵)

副隊長

【男子】	【女子】
相田敬史(旭川東)	西千秋(北星女子)
加藤達夫(岩見沢東)	細野護(旭川北)

コースパイロット

横山温	岡崎孝	西田吉磨
山岸肇	小山内吉廣	

(室蘭山岳連盟)

サポート

【男子】	【女子】
寺口一孝(室蘭山岳連盟)	桐尾義之(高体連0B)
水江一弘(室蘭山岳連盟)	藤原幸二(苫小牧高等商業)
荒谷直史(室蘭栄)	中條恵(小樽桜陽)

通信

内海健一(室蘭栄)	植野昭仁(室蘭栄)
-----------	-----------

室蘭栄山岳部員

ペーパーテスト

桐尾義之(高体連0B)
-------------

天気図審査

常田貞彦(遺愛女子)	木村宜幸(北広島)
------------	-----------

現地本部

内海健一(室蘭栄)	植野昭仁(室蘭栄)
藤田司(室蘭栄)	坂本洋子(室蘭栄)
廣田孝徳(室蘭栄)	向後麻子(室蘭栄)
山崎由理(室蘭栄)	

大会補助

室蘭栄山岳部員
---------

# 大会事務局

総務 内海健一 植野昭仁 坂本洋子 廣田孝徳 荒谷直史  
競技 植野昭仁 内海健一 藤田司 荒谷直史  
輸送宿泊食糧 植野昭仁 廣田孝徳 向後麻子 近畿日本ツリスト  
救護 山崎由理 藤田司 坂本洋子 内海健一  
記録 坂本洋子 荒谷直史  
会計 山田政紀 向後麻子 内海健一

## 開会式

- \* 次第に先立って黙祷
- 1. 開式宣言
- 2. 優勝杯返還
- 3. レプリカ贈呈
- 4. 大会長挨拶
- 5. 大会委員長挨拶
- 6. 審査委員長挨拶
- 7. 選手宣誓
- 8. 閉式宣言
- \* 当番校より連絡

## 閉会式

- 1. 開式宣言
- 2. 成績発表
- 3. 優勝杯・賞状授与
- 4. 審査委員長講評
- 5. 大会委員長挨拶
- 6. 閉式宣言
- \* 当番校より連絡

## 大会の審査要領

1. ペーパーテスト（登山についての基礎知識） 10点（4人の平均点）
2. 行動中テスト（行動中、読図・自然等の、口頭による質問） 5点（4人の合計点）
3. 審査の配点

①体力	30点	②歩行	20点
③装備	10点	④設営・撤収	5点
⑤炊事	5点	⑥気象	5点
⑦計画・記録	5点	⑧マナー	5点



## コースガイド

### 大会 2 日目：カムイヌプリ・室蘭岳

道道弁慶幌別線沿いのカムイヌプリ登山口の標識から、トラシナイ林道を 2.2 km 進むと登山ポストのあるカムイヌプリの登山口となる。勾配の緩い上り坂を沢の右岸から左岸に渡り、ゆっくり高度を上げていく。トドマツの植林地の上部には細い流れがあり、涼を感じさせる。この一段上に存在したヌプリのいずみは今年春撤去される予定である。ここから勾配が急になり、一登りすると 6 合目のカムイヒュッテにつく。薪小屋のある横から、登山道は尾根上をまっすぐ伸び、しばらくすると鎖場が現れる。やや急な岩なので、安全に留意して登りたい。南側に違法に巻き道が作られたが、今は閉鎖されている。やせ尾根から尾根の背を忠実にたどり樹林帯を抜けると、南側に登別市街と太平洋が望まれる。西側に尾根を移動すれば 750.0 m のカムイヌプリ三角点手前の 745 m 頂上標識につく。ここからは一度 200 m 近く降り、水元のコルから室蘭岳に登り返す。電波の反射板が見えると頂上はすぐである。頂上からは西尾根コースをたどり、もう一つの電波反射板の横から 825 m ピークを経て、標高差 200 m ほどの急斜面を下り、最後はペトル川を徒渉して、白鳥ヒュッテを通過して、室蘭山麓公園キャンプ指定地へ戻る。

### 大会 3 日目

#### 登山口～来馬岳

登別市鉦山町までバスで向かい、登別市営牧場へ向かう市道を 2 km ほど進むと、鉦山コースへ向かう林道の分岐点となる。ここでバスを降り、1.2 km の林道を進むと、鉦山コースの登山ポストのある広場に到着。ここから小沢を超えて作業道を利用した登山道に入り、明確な道が続いていたが、昨年夏の台風被害で標高 430 m 付近から倒木で通行不能になり、後志森林管理署にお願いして、12 月に通行可能になるように倒木処理を行っていただいた。今回の大会でこのコースを使えるのも、後志森林管理署のご尽力のおかげなので、参加者とともに感謝したい。特に被害が大きかった標高 430 m～550 m ほどまでは GPS によって地図上に記載した登山ルートと若干ずれていることをご理解いただきたい。1 時間ほどの登りの後、小沢を徒渉し、徒渉後すぐとやや登ってから右手に 2 度道を分ける。トドマツの植林からダケカンバやミズナラの木を見ながら登ると一直線に近いカーブからの刈り分け道となり、来馬岳頂上を見通せるようになる。台地上の地形から急斜面の古い鎖場を越えると、大きな岩を縫いながら花の咲く来馬岳頂上へ達する。

#### 来馬岳～オロフレ峠駐車場

来馬岳山頂からは緩い下りと小さな起伏を繰り返しながら、958 m の最低コルまで下り、その後小さなアップダウンを繰り返しながら進む。来馬岳山頂から 1 時間強進むとカルルス山の山頂表示に向かうポストと階段に達する。カルルス山からは平坦な道と緩い下りを進み、お花畑を経てオロフレ峠駐車場へ至る。

#### オロフレ峠駐車場～オロフレ山

駐車場から緩い傾斜の花の咲く斜面を登ると南側が切れ落ちた羅漢岩を経て山頂へ向かう。羅漢岩近辺が急斜面に注意する部分である。頂上直下では尾根の急登なり、最後は笹を刈り払った平坦な山頂部に到着。帰りのオロフレ峠駐車場までは同じ道に戻るため、羅漢岩周辺の歩行には注意したい。

# 大会参加校数一覽

支部名	全道大会						支部大会					
	参加校数			参加者数			参加校数			参加者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
札幌	3	3	6	12	12	24	7	5	8	56	22	78
室蘭	1	1	2	4	4	8	2	1	2	15	9	24
小樽	1	2	3	4	8	12	2	2	2	19	9	28
南空知	1	/	1	4	/	4	/	/	/	/	/	/
旭川	2	1	3	8	4	12	5	4	5	52	19	71
北見	1	1	2	4	4	8	2	2	2	30	10	40
十勝	2	2	4	8	8	16	4	3	4	53	13	66
釧根	1	1	2	4	4	8	3	2	3	23	7	30
函館	1	1	2	4	4	8	3	1	4	22	6	28
計	13	12	25	52	48	100	28	20	30	270	95	365

# 先輩の踏み跡

全国大会優秀校

回	期 日	会 場	当番高校	優勝校(男)	優勝校(女)
1	1962.7.10～7.12	大雪山系	旭川東	芦 別	旭川東
2	1963.6.29～7. 1	大雪山系	上 川	札幌南 苫小牧東	芦 別
3	1964.7. 2～7. 4	ニセコ連峰	倶知安	旭川東 小樽千秋	旭川東
4	1965.7. 2～7. 4	富良野岳・十勝岳	富良野	増 毛 遠 軽	旭川東
5	1966.6.24～6.26	十勝岳・美瑛岳 美瑛富士	美 瑛	旭川東 増 毛	旭川東
6	1967.6.22～6.24	樽前山・風不死岳 恵庭岳	苫小牧東	旭川東 北見柏陽	旭川東
7	1968.7. 4～7. 5	ウペペサンケ	帯広三条	旭川東 芦 別	旭川東
8	1969.7. 3～7. 5	芦別岳・富良野西岳	芦 別	芦 別 帯広柏葉	芦 別
9	1970.7. 2～7. 4	横津岳 駒ヶ岳	遺愛女子 函館西	標 茶 帯広農業	遺愛女子
10	1971.7. 1～7. 3	大雪山系	旭川商業	芦別工業 旭川東	芽 室
11	1972.6.29～7. 1	知床山系	北見柏陽	旭川東 北見北斗	標茶農業
12	1973.6.28～6.30	十勝連峰	旭川東	深川西 函館有斗	旭川東
13	1974.7. 4～7. 6	天狗岳・余市岳	北海道工業	函館有斗 増 毛	芽 室
14	1975.6.26～6.28	羅臼岳・羅臼湖	標茶農業	標茶農業 増 毛	標茶農業
15	1976.6.23～6.25	夕張岳(日陰の沢)	美唄工業	美唄工業 小樽工業	標茶農業
16	1977.6.22～6.24	天塩岳	士 別	旭川東 北見北斗	標茶農業
17	1978.6.28～6.30	大千軒岳	函館有斗 函館白百合 函館ラ・サール	標茶農業 小樽工業	函館白百合
18	1979.6.28～6.30	室蘭岳・カムイヌプリ	室蘭工業	八 雲 旭川東	函館白百合
19	1980.6.26～6.28	ニセコ連峰	小樽工業	北見北斗	北見北斗
20	1981.6.25～6.27	空沼岳・札幌岳	札幌慈恵	富良野工業 北見北斗	函館白百合
21	1982.6.23～6.25	夕張岳	夕張工業	檜山北	旭川商業
22	1983.6.23～6.25	暑寒別岳・雨竜沼	砂川南	富良野工業 八 雲	北見北斗
23	1984.6.21～6.23	富良野岳・芦別岳	富良野工業	帯広柏葉	北見北斗
24	1985.6.20～6.22	斜里岳・羅臼岳	網走南ヶ丘	東 川 網走南ヶ丘	網走南ヶ丘
25	1986.6.26～6.28	雄阿寒岳・雌阿寒岳 阿寒富士	標 茶	北見北斗	標 茶
26	1987.6.17～6.20	羊蹄山・アンヌプリ チセヌプリ・目国内岳	札幌新陽	小樽工業 北見北斗	旭川東栄
27	1988.6.23～6.25	ウペペサンケ山・ニベソツ山	帯広柏葉	小樽工業	旭川東栄
28	1989.6.22～6.24	駒ヶ岳・狩場山	函館中部 檜山北 遺愛女子	富良野工業 小樽工業	旭川東栄
29	1990.6.21～6.23	幌尻岳・トッタベツ岳	苫小牧東 静 内	小樽工業	旭川東栄
30	1991.6.20～6.22	羊蹄山・目国内岳・雷電山	倶知安	小樽工業 札幌稲西	江 別
31	1992.6.18～6.20	富良野岳・芦別岳	富良野	小樽工業	江 別
32	1993.6.23～6.25	夕張岳	夕張緑ヶ丘実業	旭川東 富良野工業	旭川東
33	1994.6.23～6.25	硫黄山・羅臼岳	北見北斗	旭川東	旭川東
34	1995.6.21～6.23	余市岳・無意根山	札幌稲西	旭川東 富良野工業	札幌南
35	1996.6.27～6.29	沼ノ原・トムラウシ山	帯広農業	札幌南	江 別
36	1997.6.19～6.21	恵山・海向山 白水岳～遊楽部岳	函館東 檜山北 函館ラ・サール	札幌南 札幌工業	北見北斗
37	1998.6.24～6.26	アポイ岳・ドннаップ岳	静 内	旭川東	北見北斗
38	1999.6.17～6.19	十勝連峰	富良野緑峰	札幌南 旭川東	北見北斗
39	2000.6.21～6.23	斜里岳・雄阿寒岳	釧路湖陵	札幌南	北見北斗
40	2001.6.20～6.22	羊蹄山・ニセコ山系	小樽潮陵	札幌南 札幌工業	旭川東
41	2002.6.26～6.28	美唄山・樺戸山地	美唄工業	札幌工業	北見北斗
42	2003.6.25～6.27	知床硫黄山・羅臼岳	北見北斗	北見北斗 札幌南	札幌南
43	2004.6.23～6.25	十勝幌尻岳・伏美岳 ピノイロ岳	帯広農業	江 別	北見北斗
44	2005.6.22～6.24	無意根山・羊蹄山	札幌南	札幌南 江 別	八 雲
45	2006.6.21～6.23	白水岳・狩場山	函館ラ・サール	札幌南	八 雲
46	2007.6.20～6.22	ペンケヌーシ岳 千口岳	静 内	札幌南 北見北斗	北見北斗
47	2008.6.25～6.27	美瑛岳・旭岳	旭川東	旭川東	北見北斗
48	2009.6.24～6.26	斜里岳・雄阿寒岳	釧路湖陵	旭川東 札幌北	旭川東
49	2010.6.23～6.25	神威岳・烏帽子岳 札幌岳・空沼岳	札幌稲西	札幌北	旭川東
50	2011.6.21～6.24	岩内岳～目国内岳 羊蹄山	小樽桜陽	札幌北	旭川東
51	2012.6.26～6.29	ピンネシリ 南暑寒岳～暑寒別岳	岩見沢東	札幌北	北星学園女子
52	2013.6.25～6.28	斜里岳 羅臼岳	遠軽(協力校:北見北斗)	北見北斗	旭川東
53	2014.6.24～6.27	ウペペサンケ山・ニベソツ山	帯広柏葉	帯広柏葉	帯広柏葉
54	2015.6.23～6.26	風不死岳 樽前山 羊蹄山	札幌西	旭川東	旭川東
55	2016.6.21～6.24	長万部岳 狩場山	遺愛女子	旭川東	旭川東
56	2017.6.20～6.23	カムイヌプリ～室蘭岳 米馬岳～オロフレ山	室蘭栄		

## 全道高校体育大会参加における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて

北海道高等学校体育連盟  
平成 29 年度全道高校体育大会当番校

北海道高等学校体育連盟及び平成 27 年度全道高校体育大会当番校は、大会参加申込書等を通じて取得される個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下の通り対応します。

### 1 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- (1) 大会プログラムに掲載されます。
- (2) 競技場内でアナウンス等により紹介されることがあります。
- (3) 競技場内外の掲示板等に掲載されることがあります。

### 2 競技結果（記録）等の取り扱い

- (1) 当番校が認めた報道機関等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 大会プログラム掲載の個人情報とともに、当番校が作成する大会報告書（以下報告書という）に掲載されます。
- (3) 新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

### 3 肖像権に関する取り扱い

- (1) 当番校が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 当番校が認めた報道機関が撮影した映像が中継または録画放映及びインターネットにより配信されることがあります。また、DVD 等に編集され、配付されることがあります。
- (3) この他、北海道高等学校体育連盟の許可に基づき、記念写真等が販売されることがあります。

### 4 当番校としての対応について

- (1) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
- (2) 参加申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。
- (3) 大会役員、競技役員、運営委員、その他各種委員や補助員、当番校と大会に関する契約をしている者、大会運営関係者及び会場にいられた観客の皆様につきましては、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。
- (4) 記念写真等の販売について業者から直接当番校へ問い合わせがあった場合は、一括道高体連事務局で対応しますので業者へご連絡ください。
- (5) 個人情報等の掲載または公開等に関してのご質問は、北海道高等学校体育連盟事務局までご連絡ください。

連絡先・問い合わせ先  
北海道高等学校体育連盟事務局  
011-826-3300

# 祝

第56回 北海道高等学校登山選手権大会  
兼

第61回全国高等学校登山選手権大会北海道予選会

2017年6月20日～23日

カムイヌプリ～鷲別岳(室蘭岳)・来馬岳～オロフレ山



北海道、山、店 秀岳荘

<http://www.shugakuso.com>

